

□建築設備・青空駐車場・付帯物などの修景基準

伝統的建物と新しい建物などの建築設備や付帯物などと、青空駐車場をさします。

項目	ポイント	修景基準
建築設備	⑫	空調室外機、設備メーター、ダクトなどの建築設備は、道路から見えない位置への設置を原則とする。やむを得ない場合には、木製格子などで覆うなどの工夫をし、まちなみに調和するものとする。
塀・柵・門	⑨⑩⑪	コンクリートブロックや金属類が露出することは避け、まちなみに調和した自然素材やこれに近い建材・色彩を用いる。
青空駐車場	⑨⑩⑪⑬	道路に面した駐車場は柵や塀、植栽を設置するなど、まちなみの連続性に配慮する。
広告物・看板	③⑫	通りごとにサインを計画するなど、位置、大きさ、意匠、色彩、素材を工夫する。看板類の大きさは建物の外観・形態を隠さない程度にし、まちなみに調和した質の高いものとする。 また、まちなみと調和した夜間の演出(ライトアップ等)を工夫する。
その他付帯物等	⑫	自動販売機やゴミ置き場はデザインや配置を工夫し、まちなみへの影響や道路からの見え方に配慮する。



□路地空間やオープンスペースの修景基準

方針：先人から受け継がれてきた路地の雰囲気や、お地蔵さんなどまちなみに残る文化を大切にする

路地や路地内の空地、マンションをはじめとした大規模建物の公開空地や道路に面した空地などのオープンスペースをさします。

項目	ポイント	修景基準
舗装	⑩⑬	路地やオープンスペースの舗装は、道路とのつながりを重視しつつ、砂利やレンガ、土・石等の自然石やこれに近いものを基本とし、やむを得ない場合は、色合いや風合い等が自然素材に近いものを用いる。 特に路地中央や路肩、お地蔵さんやお稲荷さんの周辺等ポイントとなる部分には、石畳やレンガ敷を用いるなど、まちなみに趣を与えるよう工夫するとともに、路地入口部分では、舗装材料の使い分け等により、路地と道路の境界性を演出する。
規模・配置等	⑪⑬⑭	オープンスペースは、道路や路地とのつながりや道路からの見え方、まちなみとのバランスを意識して、規模や配置、デザイン等に工夫する。 比較的大規模な建物に付随するオープンスペースは、まちなみの連続性に配慮し、道路側に配置する。やむを得ない場合は、建物の道路に面する部分の高さを抑えるなどの工夫と合わせて、植栽や塀等による演出等により、建物がまちなみへ与える圧迫感を和らげるよう配慮する。
付帯物・植栽等	⑬	路地やオープンスペースの修景に際しては、日常的な通行や緊急避難に十分配慮するとともに、安全性・防災性の向上という観点から、必要に応じて防火設備や街灯などを設置する。 また、地域住民等の交流の場として、共同で利用できる広報板・ベンチ等の設置やまちなみ・舗装等と調和した植栽・塀・柵等の演出などを行う。 特に路地入口部分では、入口部分の建物の妻面や塀等に表札を設置・復元する等、空間に趣を与える工夫を行う。

